

令和5年度 第4回小中一貫教育推進委員会「小中連携事業部会」

日時 令和5年12月7日(木) 15:30～
場所 砂川市立砂川中学校 会議室

開会

1 経過報告

10月12日(木)	第3回小中連携事業部会
10月16日(月)～27日(金)	「家庭学習の手引き」に関わる意見収集
11月9日(木)～15日(水)	第3回家庭学習チャレンジ週間

2 協議事項

(1) 第3回家庭学習チャレンジ週間における児童生徒の取組状況について

(2) 今後の家庭学習チャレンジ週間について

今後の家庭学習チャレンジ週間の日程は以下の通りです。なお、中学生は1回目同様、1週間前からスタートします。

また、今回は保護者を対象としたアンケートを実施します。

・第4回 2月： 2月 8日(木)～ 2月14日(水)

(3) 【市内統一版】「家庭学習の手引き」について

(4) 【砂川市版】「キャリア・パスポート」の作成について

・学校意見提出日： 2月1日(木)

(5) その他

3 連絡事項

(1) 中学校教員「乗り入れ授業」について

閉会

家庭学習の手引きについて 質問意見集約

■お忙しい中、各学校での御検討、貴重な御意見の提出、ありがとうございました。

【砂川小学校】なし

【豊沼小学校】

- ① 家庭学習の取組で、ノートを2冊とか、1日1ページ以上と統一して家庭学習を明記するのではなく、担任の裁量で行えるように幅を持たせてほしい。

A 中央小学校の④と同様の観点から、文言を修正します。

【中央小学校】

- ① 表の見づらさについて

7、8、9年のところに書いてある家庭学習の取り組みについて

・家庭学習ノートを2冊用意し～

1日あたりノート1ページ～

などは中学生以上でなく、小学生も含めて内容であると思います。しかし、中学生以上の表のところに載せてあるため分かりにくい。

→もし、枠の確保が難しい場合は、各学年の例示を減らせば別枠に載せられるのではないか。

A 枠を増やすことが難しいため、文言を修正し、ゴシック体での表記としました。

- ② 小学校での統一が中学校にもつながっていくのかを知るために、

中学校での家庭学習状況が知りたい。

○中学校ではどのくらいの宿題を出しているのか。

・教科担が出すのか

・学級担任も出すのか

・家庭学習はどのようなルールになっているのか。

○教科担も家庭学習を出すのか、どのくらいの頻度で出し、どのくらいの生徒が取り組んでいるのか。

A 交流しましょう

- ③ 文言について

7、8、9年の保護者の関わりについてのところが

「一緒に考える」が2度出てくる。どちらかの文言を削除。

A 削除しました。

- ④ 家庭学習の提出について

自校では、子どもたちが意欲的に家庭学習に取り組んでもらうために、毎日提出してもらい、コメントを付けて返している教員もいます。また、家庭学習はノートだけではなく、ドリルやタブレット学習も推奨していることから、

家庭学習ノートを2冊用意し、週1回担任に提出という文言でもいいのですが、家庭学習は週に1回以上担任に提出するなどの文言のほうが良いのではないかという話が出ました。

A 大切なことは、子供たちが将来必要となる力を身に付けるために、家庭においても毎日コツコツと少しの時間でも机に向かい、自ら学ぶ習慣をつけていくことにあると考えます。そうしたことから、基本的に家庭学習は「毎日行う」ものということを伝えたいと思います。また、子供たちの頑張りを認め、褒める材料にするために、先生たちによる確認も必要と考えます。ただ、家庭学習の確認が業務量の増大につながるという指摘がある一方で、教職員の多くの気質から『やるからには毎日確認せねば…』という流れに進む可能性もあるため、「働き方改革」の観点から、一定の縛りを作ったほうがよいかと考え、「週1回」としたところで

が、大切なことは上記青字であること、また、毎日提出してもらいたいなど教職員の皆さんの子ども達への期待等を尊重する観点から、「学級担任や教科担任の先生へ提出する(提出方法は、各先生方から示されます)」という形で統一したいと思います。

ただ、やってこなかったり忘れてきたりした子供を責めたり、居残りさせたり、提出を強制したりするものではなく、持ってきた子供の頑張りをほめ、持ってこなかった(やってこなかった)子供に努力を促すような運用をしてください。

【空知太小学校】なし

【北光小学校】

① 裏表紙の「義務教育9年間を通した家庭学習の在り方イメージ」に「しゅくだい(宿題)」とあるが、宿題を必ず出す印象を与えてしまうので、復習中心に学習することを勧めるような表現にしてはどうか。

A いわゆる「学校から出される課題」を行うという意味で、どの保護者の方にもわかりやすい「宿題」という言葉を用いています。適切な言葉が事務局としては思い浮かばないので、委員の皆さんにお知恵を拝借したいです。

【砂川中学校】

① 「・家庭学習ノートを2冊用意し、週1回担任に提出する。」とあるが、学年や担任等で取り組み方にはそれぞれ工夫があるので、限定しない方が良い。

*記述を、「家庭学習はノートや学習ワーク、塾の宿題等、取り組んだものを担任に提出する。」にしてはどうでしょうか。

A 中央小学校の④と同様の観点から、文言を修正します。

② 「※タブレット端末でドリル学習する。」とありますが、タブレット端末は毎日持ち帰りさせるで大丈夫ですか。

*注意書きがない場合、※で書かれていても必ず持ち帰りすると読み取れてしまうので、砂川市で学習アプリ等が準備でき次第、記述するのはどうでしょうか。

A すでに日常的な持ち帰りをしている学校とそうでない学校とで、まだ現状として足並みがそろっておらず、次年度から一斉にとはならないことは承知しており、このことは前回小中連携事業部会でお話した通りです。ただ、表示は(例)であることから、残しても問題ないと考えますが、タブレット端末の活用は「ドリル学

習」限定ではありませんので、「タブレット端末を活用して学習する」に文言を変更します。

一方、<9年間を通した家庭学習の取組について>の部分は、「タブレット端末を持ち帰った時には予習や復習に活用するのも効果的です」という文言に修正します。



まなびのつながり

～砂川市の子どもたちの学ぶ力の向上に向けて～

家庭学習の習慣化は、子どもの学ぶ力を高める大切な要素です。理解の状況を把握し、学習環境を整えることが大切です。

- 義務教育 9 年間の家庭学習のポイントと保護者の関わり
- 義務教育 9 年間を通じた家庭学習の在り方イメージ
- 家庭学習の習慣化を図る家庭での環境づくり
- ネットトラブルから子どもを守る家庭でのルールづくり



砂川小学校

すい道をたてて考える子/力を合わせて動く子/すすんで体をきたえる子



豊沼小学校

美しい心 丈夫な体



中央小学校

かしこく なかよく つよく



空知太小学校

よく考え、学び、発表する子/心豊かに、たくましく生きる子/明るく、健康な子



北光小学校

よく考え 進んで学ぶ子/思いやりのある子/たくましく 元気な子



砂川中学校

進取 調和 躍動

砂川市小中一貫教育推進委員会・砂川市 PTA 連合会
砂川小 PTA・豊沼小 PTA・中央小 PTA・空知太小 PTA・北光小 PTA・砂川中 PTA

9年間で取り組む家庭学習【国語・算数（数学）】 ～ 家庭学習のポイントと保護者の関わり ～

時間（目安）	国語（例）	算数（例）	他の教科等（例）	保護者の関わり（例）
1年生 20分 程度	<ul style="list-style-type: none"> ひらがな練習 カタカナ練習 漢字練習 音読 教科書の書き写し 絵日記 想像したことや手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 計算練習（1桁の数の+、-） 問題を図で表す 形づくり 大きさ比べ 	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカの練習 草や花の絵を描く 虫の名前を調べる 観察日記を書く ※タブレット端末を活用して学習する	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center;"> 一緒に学習 ↓ やる気を 出させる </div> <ul style="list-style-type: none"> 手助けしながら、一緒に学習しましょう できたところはたくさん褒めましょう 学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう
2年生 30分 程度	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 音読 教科書の書き写し 絵日記や手紙を書く 読書の感想を家族にお話する 	<ul style="list-style-type: none"> 計算練習（2桁の+、- かけ算九九 等） 問題を図に表す 100升計算等 長さ比べ 時刻、時間調べ 		<ul style="list-style-type: none"> できたところはたくさん褒めましょう 学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう
3年生 40分 程度	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 段落分け 音読 日記、作文 読書の感想を書く 国語辞典を使った意味調べ ローマ字練習 	<ul style="list-style-type: none"> 計算、文章問題練習（3桁の数の+、-等） 分数の計算(+、-) 問題を図で表す 100升計算等 長さ、重さ調べ コンパスの使い方 図形を描く 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの練習 理科や社会の学習をとおして興味や疑問をもったことを、本やタブレット端末、図書館や郷土資料室などで調べる 調べた結果を図や表に整理し、結果を比較してまとめる プリントの学習とノートを使った学習を併用する ※タブレット端末を活用して学習する	<div style="border: 1px solid black; background-color: orange; padding: 5px; text-align: center;"> 認めて褒める ↓ 自信がつく やる気のでる </div> <ul style="list-style-type: none"> わかるところは自分で、わからないところは一緒に考えましょう 取り組んだことを褒めて、認めて、励まし、自信をつけさせましょう 国語辞典や地図を使う習慣を徐々につけていきましょう
4年生 50分 程度	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 段落分け 音読 読書の感想を書く 国語辞典を使った意味調べ ローマ字練習 	<ul style="list-style-type: none"> 計算、文章問題練習（小数・分数の+、-等） 問題を図で表す 正方形等の面積を公式で求める 多角形の角度調べ 立方体、直方体の見取図や展開図を描く 	<ul style="list-style-type: none"> プリントの学習とノートを使った学習を併用する ※タブレット端末を活用して学習する	 <ul style="list-style-type: none"> 取り組んだことを褒めて、認めて、励まし、自信をつけさせましょう 国語辞典や地図を使う習慣を徐々につけていきましょう

時間(目安)	国語(例)	算数(例)	他の教科等(例)	保護者の関わり(例)
5年生 60分 程度	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 音読 辞典の活用 古文、漢文の音読 漢字調べ 熟語の意味調べ 伝記を読んで自分の生き方を考え、感想文に書く 	<ul style="list-style-type: none"> 計算、文章問題練習(小数・分数の割算) 問題づくり 問題を図で表す 三角形や平行四辺形の面積、直方体の体積を公式で求める 速さ、時間、道のりを公式で求める 見取図や展開図を描く 	<ul style="list-style-type: none"> 理科や社会の単元テストで間違った問題を、教科書やノートで確認しながら解き直す 興味や疑問に思ったことを本やタブレット端末、図書館、郷土資料室などで調べ、図や表で整理し、結果を比較してまとめる 	<div style="border: 1px solid black; background-color: #f96; padding: 10px; text-align: center;"> 見守って ↓ 伸ばす </div> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を見直させましょう 宿題、授業の復習を中心に、計画を立て学習を進められるよう見守りましょう 将来の夢について、話し合ってみましょう
6年生 70分 程度	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習 音読 辞典の活用 古文、漢文の音読 熟語の意味調べ 新聞を読む 本の推薦文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 計算、文章題練習(分数・小数の四則計算) 問題づくり 問題を図で表す 円の面積、円柱の体積を公式で求める 対称な図形を描く 	<ul style="list-style-type: none"> 家族と簡単な英語で会話をする ※タブレット端末を活用して学習する 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の夢について、話し合ってみましょう
7年生 80分 程度	<p>★国語(例)</p> <p>【予習】<教科書を読む></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を音読する 新しい漢字や熟語などを調べる 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ <p>【復習】<教科書を読みながら、ワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する <p>★数学(例)</p> <p>【予習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係している既習の計算方法や公式などを確認する 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く <p>【復習】<教科書の問いやワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く 		<div style="border: 1px solid black; background-color: #f9c; padding: 10px; text-align: center;"> 子供と一緒に考える ↓ 自分を見つめさせ、学習方法や進路、将来の目標を明確にさせる </div> 	
8年生 90分 程度	<p>★国語(例)</p> <p>【予習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係している既習の計算方法や公式などを確認する 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く <p>【復習】<教科書の問いやワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く 	<p>★数学(例)</p> <p>【予習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係している既習の計算方法や公式などを確認する 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く <p>【復習】<教科書の問いやワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く 	<p>★国語(例)</p> <p>【予習】<教科書を読む></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を音読する 新しい漢字や熟語などを調べる 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ <p>【復習】<教科書を読みながら、ワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する <p>★数学(例)</p> <p>【予習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係している既習の計算方法や公式などを確認する 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く <p>【復習】<教科書の問いやワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く 	<div style="border: 1px solid black; background-color: #f9c; padding: 10px;"> <p><9年間を通した家庭学習の取組について></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習は毎日取り組む(国・社・数・理・英を中心に) 家庭ノートや学習ワーク、塾の宿題等取り組んだものを週1回以上学級担任や教科担任の先生へ提出する(提出方法は、各先生方から示されます) <p>※タブレット端末を持ち帰った時には予習や復習に活用するのも効果的です</p> <p><予習の仕方></p> <ul style="list-style-type: none"> 学習する教科の教科書に目をとおす 辞書や参考書等で意味などを調べる 例題などに取り組む <p><復習の仕方></p> <ul style="list-style-type: none"> ノートを見ながら、問題を解く ワークで練習する </div> 
9年生 100分 程度	<p>★国語(例)</p> <p>【予習】<教科書を読む></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を音読する 新しい漢字や熟語などを調べる 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ <p>【復習】<教科書を読みながら、ワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する <p>★数学(例)</p> <p>【予習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係している既習の計算方法や公式などを確認する 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く <p>【復習】<教科書の問いやワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く 	<p>★国語(例)</p> <p>【予習】<教科書を読む></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を音読する 新しい漢字や熟語などを調べる 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ <p>【復習】<教科書を読みながら、ワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する <p>★数学(例)</p> <p>【予習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係している既習の計算方法や公式などを確認する 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く <p>【復習】<教科書の問いやワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く 	<p>★国語(例)</p> <p>【予習】<教科書を読む></p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を音読する 新しい漢字や熟語などを調べる 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ <p>【復習】<教科書を読みながら、ワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する <p>★数学(例)</p> <p>【予習】<教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係している既習の計算方法や公式などを確認する 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く <p>【復習】<教科書の問いやワークの問題を解く></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方の職業選択のきっかけや職業観について、話し合う機会をもちましょう 進路の具体的な目標を明確にして、目標達成のために、何をやる必要があるのかを、一緒に考えましょう

義務教育9年間を通じた家庭学習の在り方イメージ

1・2年

3・4年

5年～

「しゅくだい」を中心に

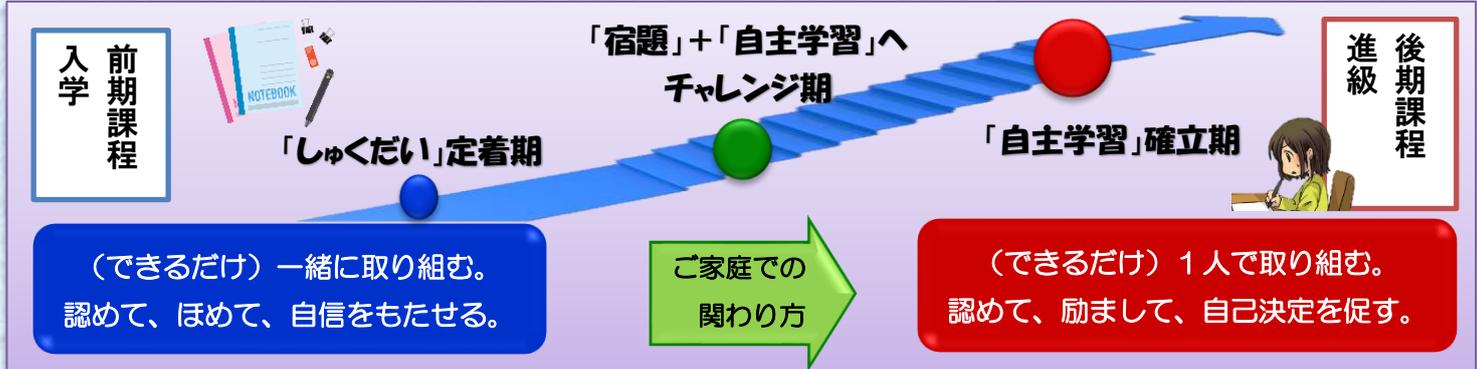
- ・「学校で勉強したこと」をおぼえているかな？ しゅくだいでふくしゅうしよう！
- ・ていねいに、せいかくに、できるようになろう！

「宿題」+「自主学习」にチャレンジ！

- ・宿題はできるだけ同じ時間帯に取り組もう！
- ・ていねいに、正かくに、スピードをもってできるようになろう！

自分で課題を見つけて「自主学习」を中心に

- ・その日の復習や予習はもちろん、自分を高める学習に取り組もう！
- ・授業のノートと同じように「課題」や「まとめ」「振り返り」も書こう！



家庭学習の習慣化を図るご家庭での環境づくり

○体をつくる

- ・ぐっすり睡眠
- ・しっかり朝食
- ・適度の運動



○学ぶ雰囲気をつくる

- ・落ち着いた環境で学習できるように周りの環境を整えましょう
- ・はじめる時刻や場所を決めましょう
- ・テレビやゲーム等の時間は「My家庭ルール」を決めましょう

○やる気をつくる

- ・「～しなさい」から「～してみよう」など、提案型の声かけを心がけ、励ましや承認を通して「やる気」を引き出しましょう

○安心感をつくる

- ・会話の時間を増やす
- ・体験する機会を増やす
- ・家族で読書に親しむ



子どもたちをネットトラブルから守るために ～何を目的に所有するのか話し合ってみて下さい～

スマートフォン等の所有について子どもから相談を受けた場合は、周囲の所有状況等からのみで判断せず、発達段階や日常生活の様子から、「ルールを守った使用ができること」、「必要性があること」などについて総合的に判断することが大切です。

また、保護者が「持たせる」と判断した場合、「スマートフォン等は、保護者名義で契約し、子どもに貸し与えている。」という認識をもつことが重要です。さらに、スマートフォン等を与える前には、利用目的やマナーについて話し合い、危険性も十分に理解させた上で、保護者は利用状況等を適切に把握し管理することも必要です。

なお、ネットトラブルは想像を超える速さで深刻化します。不安な時は、速やかに警察・学校・教育委員会等に相談してください。

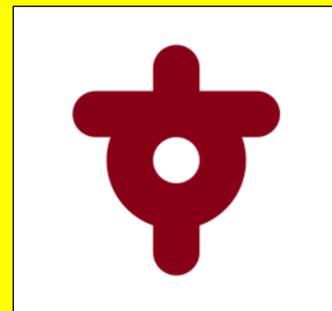


【家庭のルール（例）】 ～発達段階に応じたルールづくりをしましょう！～

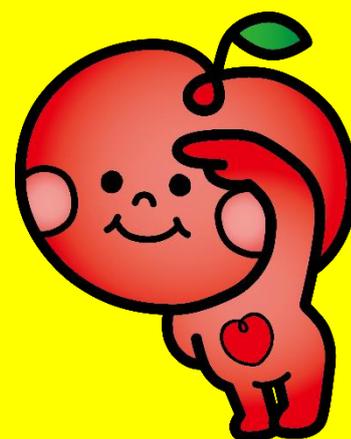
- フィルタリングを設定する
(解除する場合は、発達段階に応じて段階的に行う)
- 他人のパスワードやIDを勝手に使わない
- 課金やダウンロードは保護者に確認する
- 知らない人とメール等のやりとりはしない
- 個人が特定できる情報や写真は載せない
- 通信ゲーム等を全く使用しない日を決める
- ルールを守れないなら利用を停止する

<相談先> 砂川市教育委員会 54-2121 滝川警察署 24-0110 北海道岩見沢児童相談所 0126-22-1119
子ども相談支援センター 0120-3882-56 (24時間) 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310 (24時間)

砂川版 「キャリア・パスポート」



令和〇年4月1日
砂川市教育委員会



SUNAGAWA
MIMAMORINGO

はじめに

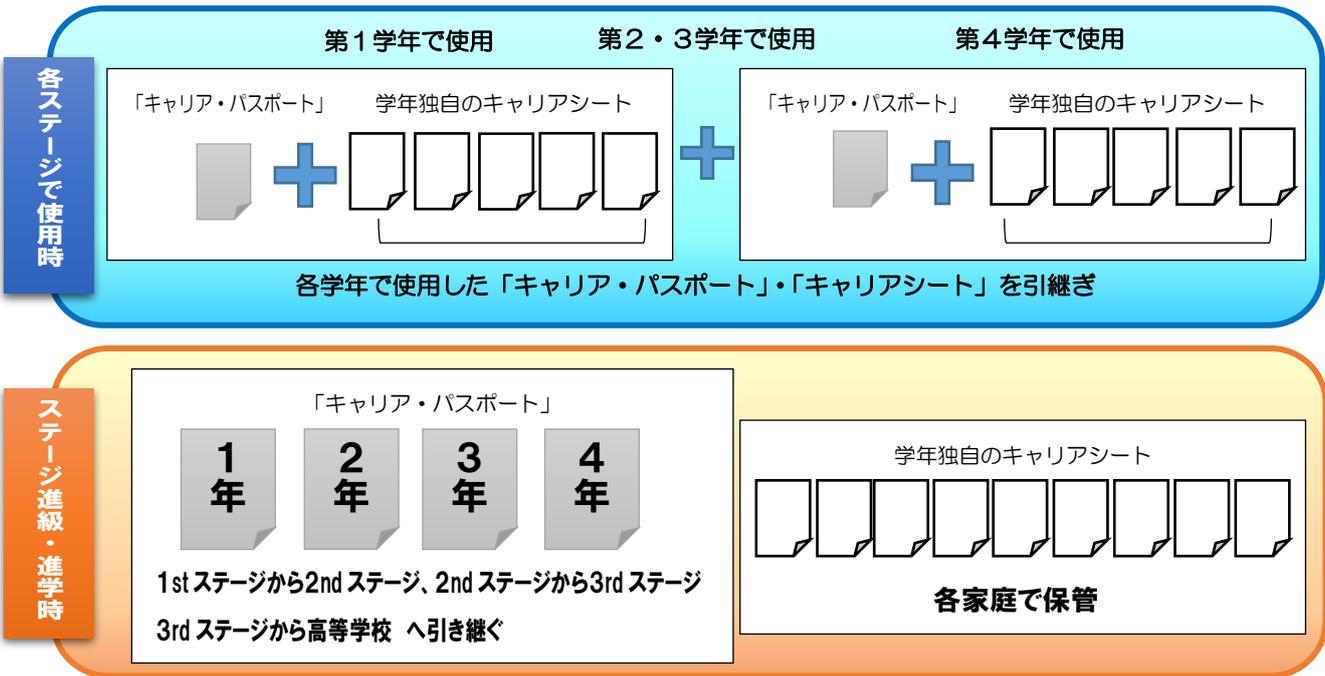
学習指導要領では、「キャリア・パスポート」の定義として、「児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。」としています。

砂川市では、令和2年度から市内全校において、日常のワークシートや学校行事の記録、学習の振り返り等をポートフォリオとして蓄積した独自のキャリアシートを作成し、学年や校種を越えて引き継がれてきました。一方で、各学校でのキャリアシートの内容が充実することに伴い、ファイル自体が厚くなり、引き継ぐ形式としては難しいということや、現在は各学校が設定しているキャリアシートを、義務教育学校開校に合わせて統一する必要があることなどが課題として見られました。そこで、現在のキャリアシートはステージ内で引き継ぐものとして活用し、1stステージ（1～4年生）、2ndステージ（5～7年生）、3rdステージ（8・9年生）、高等学校へと引き継ぐものとして、新たに統一した砂川版「キャリア・パスポート」を作成しました。

砂川版「キャリア・パスポート」（以下、「キャリア・パスポート」という。）は各学年A4サイズ2枚分（両面1枚）です。ステージ内の進級に当たっては、各学年のキャリアシートに合わせて各学年の「キャリア・パスポート」を活用し、それらを引き継ぎます。さらに、1stステージから2ndステージ、2ndステージから3rdステージ、3rdステージから高等学校という、ステージや校種を越えて引き継ぐ際には、「キャリア・パスポート」のみを引き継ぐこととします。その際、キャリアシートは各個人で保管します。

キャリア・パスポートは、その時々のお子様の思いや考えが綴られた「大人に向けた成長の足跡」です。節目ごとに、お子様が家庭に持ち帰り、コメントの記入をお願いすることになりますので、お子様の書いたことをお読みいただき、成長を応援する言葉がけをしていただけますと幸いです。

《キャリア・パスポートの活用方法》



砂川版「キャリア・パスポート」について

Q1 「キャリア・パスポート」にはどんな良さがあるの？

「キャリア・パスポート」を用いて、学年間や校種間をつなぐことで、子供やお家の方にとって次のような良さがあります。

子供にとって

過去に自分が書いたことを読み返したり、振り返ることで新たな学習活動への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできます。

保護者にとって

「キャリア・パスポート」をつなぐことにより、どのような学習過程をたどってきたか、そこでどのように成長してきたかが把握でき、体系的・系統的なキャリア教育につながります。

Q2 「キャリア・パスポート」はいつ使うの？

どの学年も、年度はじめ（4月）、年度の折り返し（10月頃）、年度末（3月頃）に記入できる構成になっています（第1学年を除く）。学校では、学級活動の時間などで、キャリアシートを用いて振り返りをしたり、新たな目標を立てたりする際に活用します。

学校で記入後、節目にお家に持ち帰り、お家の方にコメントを寄せていただきます。お家でコメントを記入したら、再び学校に持ってきていただき、ファイリングします。

「お家の人から」の欄にコメントを書く際には

キャリア教育の視点から、一人一人の次のステップにつながるよう後押しする内容にすることが大切です。

※子供たちが書いた内容について、これまでの「キャリア・パスポート」等の内容や、普段の様子、お子様の個性に応じたコメントをするようにします。

〈例〉1年間の振り返りで、運動会での徒競走のことに触れ、

「全力で走って、1位になれたことがうれしかった。」と書いていても・・・

引込み思案で運動が苦手と言っていたが、徒競走のとき、息を切らしつつも精一杯走り切ることができた子供には…

お母さんもうれしいです。本当によい経験ができましたね。徒競走のとき、あきらめずに一生懸命に挑戦する姿が素敵でした。この経験をこれからも生活にいかそうね！



普段から活発に遊び、体を動かすことが好きで、走り終わったあと、友達に対して積極的に応援する姿が見られた子供には…

1等賞、おめでとう。自分自身のがんばりはもちろんのこと、●●がクラスのお友達に大きな声で「がんばれー」と応援していたところが、かっこよかったよ。これからも人を元気にする経験を重ねてほしいです。



1 ねんせい

() <み なまえ: ()

かいたひ: ねん がつ にち

- 1 1 ねんの はんぶんが おわって
がくしゅうや せいかつで がんばったぶんだけ O を つけましょう。

**がんばったな、と おもう かずだけ
まわりの O を かこんでね!**



(がくしゅう)

©砂川市みまもりんご



(せいかつ)

©砂川市みまもりんご



がくしゅうで がんばったこと

せいかつで がんばったこと

これから ちょうせんしたいこと

Blank writing area with a dashed line for writing.

せんせいや おうちのひとから

Blank writing area with a dashed line for writing.

かいた日： _____ 年 月 日

2 1年かんを ふりかえって

(がくしゅう) ©砂川市みまもりんご



(せいかつ) ©砂川市みまもりんご



がくしゅうで がんばったこと

せいかつで がんばったこと

3 この1年かんで うれしかったことや たのしかったこと

4 こんな 2年生に なりたいな

せんせいから

おうちのひとから

2年生

() くみ なまえ
、

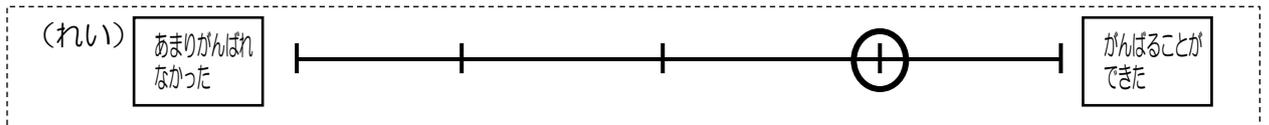
かいた日： 年 月 日

1 2年生になったいまの気持ちやがんばりたいこと

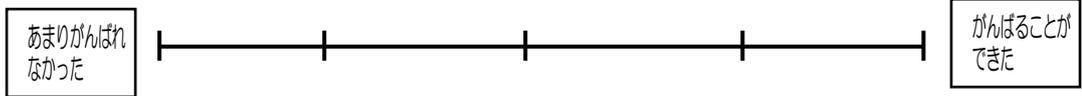
Blank writing area with horizontal dashed lines.

2 1年のはんぶんがおわって かいた日： 年 月 日

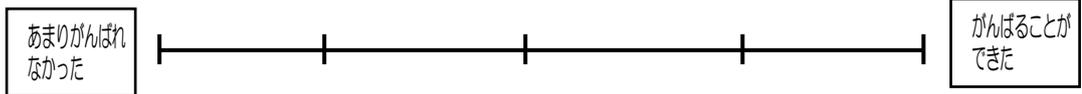
目ひょうがどのくらいがんばることができましたか。



(学しゅう)



(生かつ)



とくにがなげなかつたこと

Blank writing area with horizontal dashed lines.

これからちようせんしたいこと

Blank writing area with horizontal dashed lines.

先生やおうちのひとから

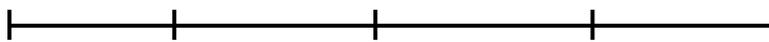
Blank writing area with a folded corner icon.

かいた日： 年 月 日

3 1年かんと ふりかえって

(学しゅう)

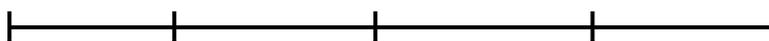
あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

(生かつ)

あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

とくにごんばったこと

4 この1年かんでうれしかったこと

5 こんな3年生になりたい

先生から

おうちのひとから

3年生

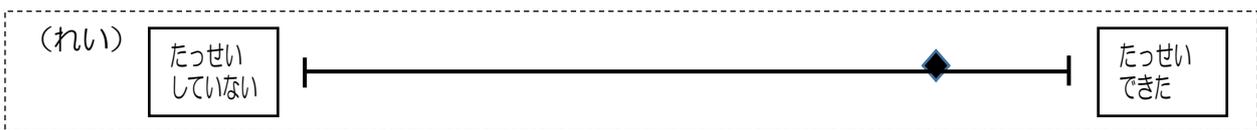
() 組 名前 ()

書いた日： 年 月 日

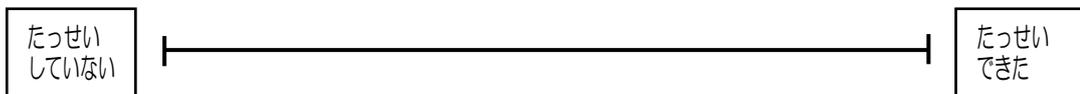
1 3年生になった今の気もちやがんばりたいこと

Blank writing area for question 1.

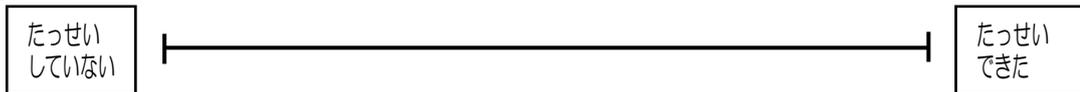
2 1年の半分がおわって 書いた日： 年 月 日
目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。



(学しゅう)



(生かつ)



とくにかんばったこと

Blank writing area for 'とくにかんばったこと'.



これからちょうせんしたいこと

Blank writing area for 'これからちょうせんしたいこと'.

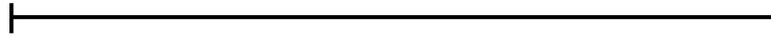
先生やお家の人から

書いた日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

3 1年かんを ふりかえって

(がくしゅう)

たっせい
していない



たっせい
できた

(せいかつ)

たっせい
していない



たっせい
できた

とくにがんばったこと

4 自ぜんや生きもの、命などについて、体けんして考えたこと

5 こんな4年生になりたい

先生から

お家の人から

4年生

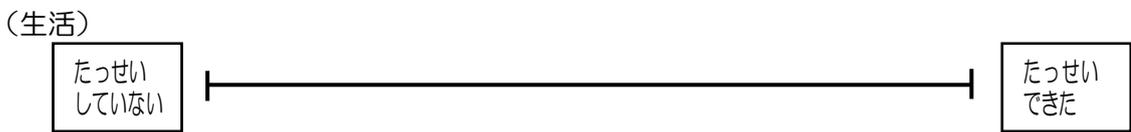
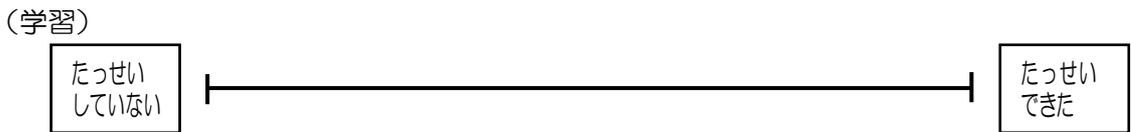
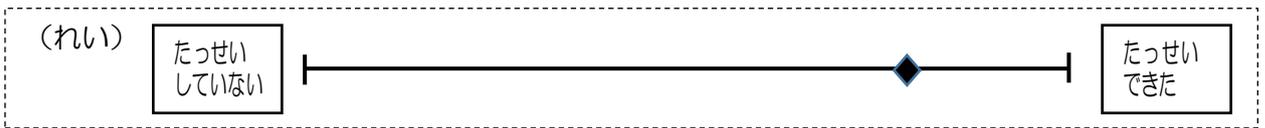
() 組 名前 ()

記入日： 年 月 日

1 4年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

[Empty box for writing feelings and goals]

2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。



とくにながらったこと

[Empty box for writing achievements]

これからちょうせんしたいこと

[Empty box for writing future goals]

先生やお家の人から

[Empty box for writing feedback from teachers and family]

記入日： 年 月 日

3 1年間を 振り返って

(学習)

たっせい
していない



たっせい
できた

(生活)

たっせい
していない



たっせい
できた

とくにかんばったこと

4 10才のふし目をむかえて

今、む中になっていることや好きなこと

しょう来のゆめ (こんな大人になりたい) や目ひょう

今がんばっていること

5 こんな5年生になりたい

先生から

お家の人から

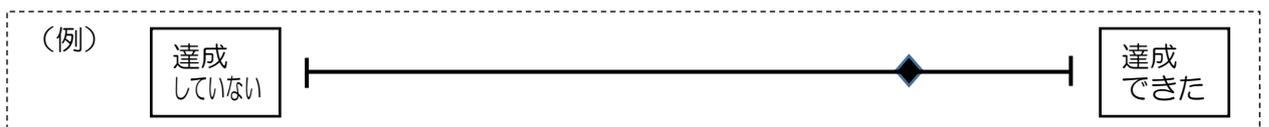
5年生

() 組 名前 ()

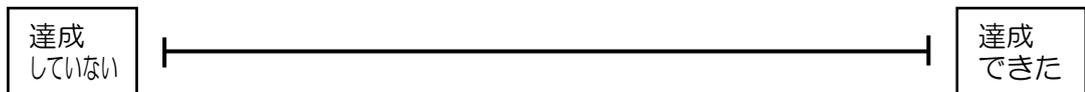
記入日: 年 月 日

1 5年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

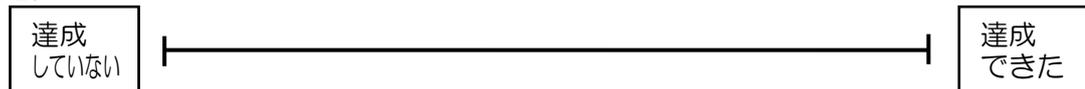
2 1年の半分が終わって 記入日: 年 月 日
目標がどのくらい達成できましたか。



(学習)



(生活)



特に熱心に取り組んだこと

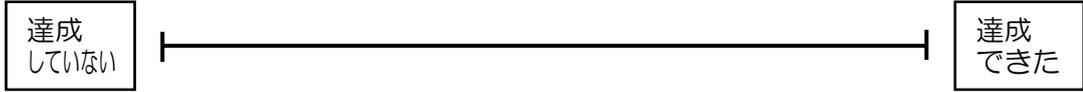
これからちょう戦したいこと

先生やお家の人から

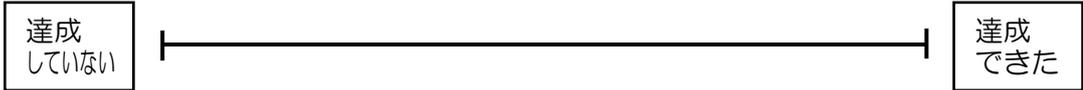
記入日： 年 月 日

3 高学年としての1年間を振り返って

(学習)



(生活)



特に熱心に取り組んだこと

4 宿泊学習を振り返って

成長できたと思うこと

きっかけとなったできごと

5 こんな6年生になりたい

先生から

お家の人から

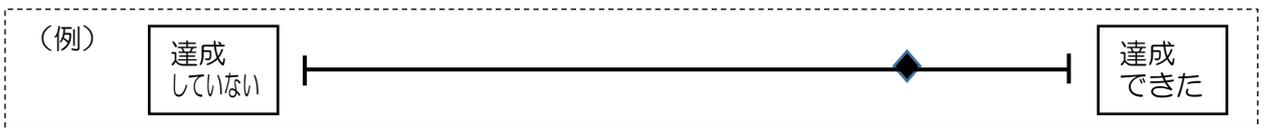
6年生

() 組 名前 ()

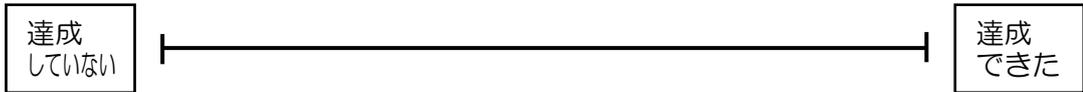
記入日： 年 月 日

1 6年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

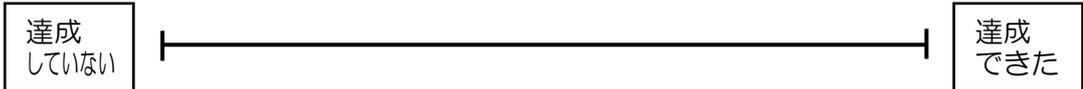
2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目標がどのくらい達成できましたか。



(学習)



(生活)



特に熱心に取り組んだこと

これからちょう戦したいこと

先生やお家の人から

記入日： 年 月 日

3 前期課程最後の1年を振り返って

(学習)

達成 していない	_____	達成 できた
-------------	-------	-----------

(生活)

達成 していない	_____	達成 できた
-------------	-------	-----------

特に熱心に取り組んだこと

4 前期課程の生活を振り返って

一番印象に残っている出来事とその理由

成長したと感じたことやそのきっかけ

5 後期課程(7年生)に向けた今の気持ち(楽しみなこと、不安なことなど)

6 将来の夢(こんな大人になりたい) やしてみたい仕事

先生から

お家の人から

7年生

() 組 名前 ()

1 後期課程になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

--

2 将来の夢や目標に向かって、身に付けたい力とその理由

こんな大人になりたい(将来の夢や目標)	そのために身に付けたい力
	
そう思った理由やきっかけ	

3 なりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにかかること

(学習面の目標)	すること
	
(生活面の目標)	すること
	
(家や地域、その他習い事等)	すること
	

記入日： 年 月 日

4 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと

(学習面)	今後
	
(生活面)	今後
	
(家や地域、その他習い事等)	今後
	
先生やお家の人などから	

記入日： 年 月 日

5 目標の達成状況（1年間を振り返って）

(学習面)	理由
〔達成度： %〕	

(生活面)	理由
〔達成度： %〕	

(家や地域, その他習い事等) 理由
〔達成度： %〕

6 6年生だった自分へ

--

7 8年生に向けて

--

先生から

お家の人などから

8年生

() 組 名前 ()

1 8年生になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

[Empty box for writing feelings]

2 になりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにかかること

(学習面の目標)	すること
(生活面の目標)	すること

(家や地域、その他習い事等)	すること
----------------	------

記入日： 年 月 日

3 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと

(学習面)	今後
(生活面)	今後

(家や地域、その他習い事等)	今後
----------------	----

先生やお家の人などから

記入日： 年 月 日

4 目標の達成状況(1年間を振り返って)

(学習面)	理由
[達成度： %]	
(生活面)	理由
[達成度： %]	

(家や地域, その他習い事等) 理由
 [達成度: %]

5 職場体験で学んだことが、今の自分に影響していること
 (職場体験後の学習面、生活面での変化や人との接し方、将来への考え方など)

6 「A」「B」どちらに賛成しますか？
 今の自分の気持ちに近いところに、印を付けましょう

A	Aに賛成 ←————→ Bに賛成	B
例	—————◆—————	
将来のことは高校に入ってから考える	—————	今から将来のことを考えている
自分で人生を切り拓いていきたい	—————	人に言われるがままの人生でかまわない
勉強するのは高校入試のためだ	—————	高校入試は通過点。勉強するのはその先の将来のためだ
一度決めた将来の夢は何があっても変わらない	—————	将来の夢はこれから変わるかもしれない
中学校卒業後の進路が思い通りにならなかったら、自分の夢をあきらめる	—————	卒業後の進路が思い通りにならなかったとしても努力を重ねて夢に近づきたい

先生から

お家の人などから

9年生

() 組 名前 ()

1 9年生になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

2 なりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにかかること

(学習面の目標)	すること
	
(生活面の目標)	すること
	

(家や地域、その他習い事等)	すること
	

記入日： 年 月 日

3 1年の半分以上を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと

(学習面)	今後
	
(生活面)	今後
	

(家や地域、その他習い事等)	今後
	

先生やお家の人などから

記入日： 年 月 日

4 目標の達成状況(1年間を振り返って)

(学習面)	理由
〔達成度： %〕	
(生活面)	理由
〔達成度： %〕	

(家や地域, その他習い事等) 理由
〔達成度: %〕

5 これまでの約 15 年間で、自分の成長を実感したきっかけのベスト 3



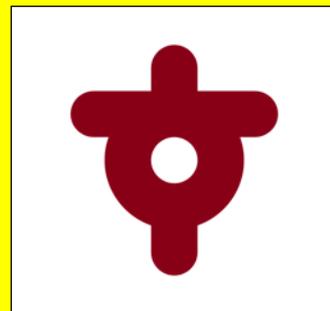
いつ	きっかけ	成長した内容

6 高校生活等の4月からの進路に向けた今の気持ち（楽しみなこと、不安なこと）

7 30 才の自分へのメッセージ（将来の夢や目標、仕事などを想像して）

先生から

お家の人などから



令和〇年4月1日
砂川市教育委員会

砂川版 「キャリア・パスポート」 指導資料

○はじめに	1
○砂川版「キャリア・パスポート」について	2
○前期課程用	3
○後期課程用	15

はじめに

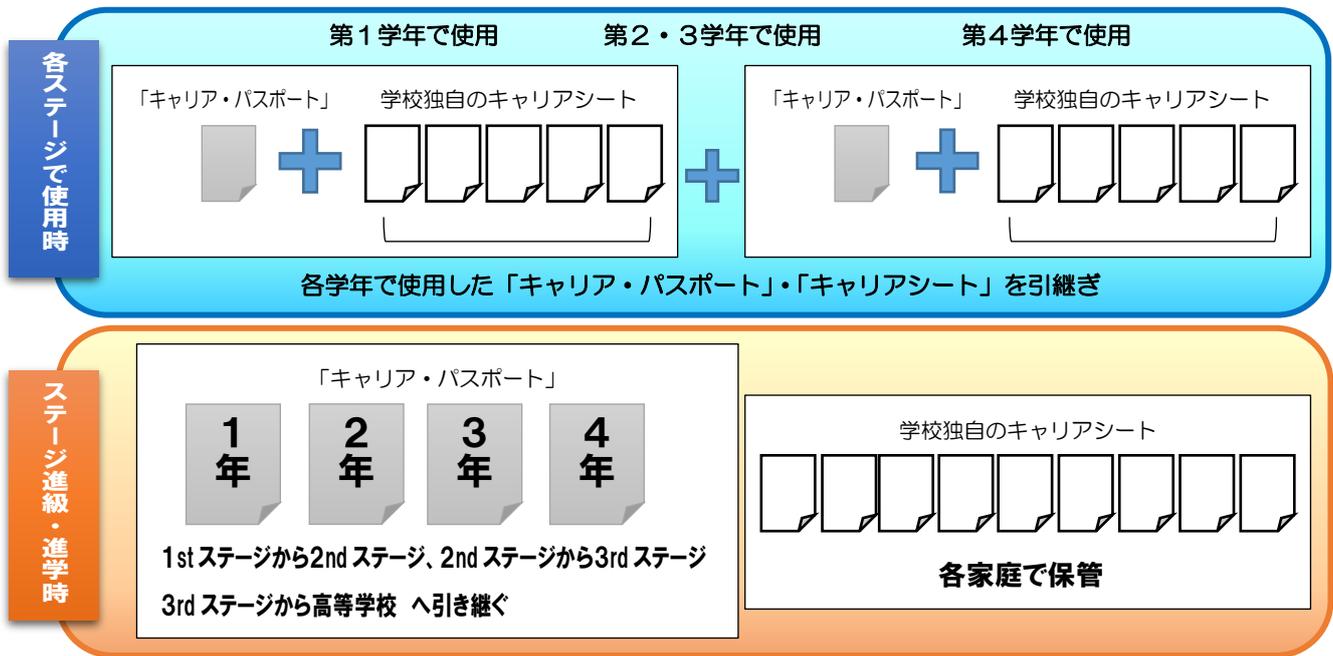
学習指導要領では、「キャリア・パスポート」の定義として、「児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。」としています。

砂川市では、令和2年度から市内全校において、日常のワークシートや学校行事の記録、学習の振り返り等をポートフォリオとして蓄積した独自のキャリアシートを作成し、学年や校種を越えて引き継がれてきました。一方で、各学校でのキャリアシートの内容が充実することに伴い、ファイル自体が厚くなり、引き継ぐ形式としては難しいということや、現在は各学校が設定しているキャリアシートを、義務教育学校開校に合わせて統一する必要があることなどが課題として見られました。そこで、現在のキャリアシートはステージ内で引き継ぐものとして活用し、1stステージ（1～4年生）、2ndステージ（5～7年生）、3rdステージ（8・9年生）、高等学校へと引き継ぐものとして、新たに統一した砂川版「キャリア・パスポート」を作成しました。

砂川版「キャリア・パスポート」（以下、「キャリア・パスポート」という。）は各学年A4サイズ2枚分（両面1枚）です。ステージ内の進級に当たっては、各学年のキャリアシートに合わせて各学年の「キャリア・パスポート」を活用し、それらを引き継ぎます。さらに、1stステージから2ndステージ、2ndステージから3rdステージ、3rdステージから高等学校という、ステージや校種を越えて引き継ぐ際には、「キャリア・パスポート」のみを引き継ぐこととします。その際、キャリアシートは各個人で保管します。

なお、令和7～15年度の間卒業する児童生徒においては、過去の学年分を「キャリア・パスポート」に書き直すことが困難な場合、「キャリア・パスポート」と同様の項目のキャリアシートを抜粋し、「キャリア・パスポート」として引き継ぐことも考えられます。

なお、活用については、参考として『「キャリア・パスポート」の効果的な活用に向けて』（令和3年7月 北海道教育庁学校教育局義務教育課）も併せてご覧ください。



砂川版「キャリア・パスポート」について

Q1 「キャリア・パスポート」にはどんな良さがあるの？

「キャリア・パスポート」を用いて、学年間や校種間をつなぐことで、子供たちや教員にとって次のような良さがあります。

子供にとって

過去に自分が書いたことを読み返したり、振り返ることで新たな学習活動への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできます。

教員にとって

「キャリア・パスポート」をつなぐことにより、どのような学習過程をたどってきたか、そこでどのように成長してきたかが把握でき、体系的・系統的なキャリア教育につながります。

Q2 「キャリア・パスポート」はいつ使うの？

どの学年も、年度はじめ（4月）、年度の折り返し（10月頃）、年度末（3月頃）に記入できる構成になっています（第1学年を除く）。学級活動の時間などで、キャリアシートを用いて振り返りをしたり、新たな目標を立てたりする際に活用します。

「先生から」の欄にコメントを書く際には

キャリア教育の視点から、一人一人の次のステップにつながるように後押しする内容にすることが大切です。

※子供たちが同じような内容を書いている場合、これまでの「キャリア・パスポート」等の内容や、普段の様子をもとに、一人一人に応じたコメントをするようにします。

〈例〉 宿泊学習の後の振り返りで、Aさん、Bさんのどちらも登山体験に触れ、
「みんなと協力できて〇〇山に登れたことがうれしかった。」と書いていても

引っ込み思案で運動が苦手と言っていたが、登山のとき、息を切らしつつも登り切ることができた児童には…

先生もうれしいです。クラスの目標の「協力」が達成できましたね。登山のとき、あきらめずに一生懸命に挑戦する姿が素敵でした。努力は嘘をつかないことが経験できましたね。



普段から友達と活発に遊んでおり、少し羽目を外すところもある。登山のとき、友達に対して積極的に励ます姿が見られた児童には…

クラスの目標の「協力」が達成できましたね。自分自身のがんばりはもちろんのこと、〇〇さんの声掛けで、クラス全体の団結力が高まりました。これからも人の役に立つ経験を重ねたいですね。



※本指導資料には、「キャリア・パスポート」の各項目について、「子供たちに考えさせたいこと」「指導のポイント」を掲載していますので、「キャリア・パスポート」を活用する際の参考にしてください。

1 ねんせい

() くみ なまえ: ()

かいたひ: _____ ねん がつ にち

1 1 ねんの はんぶんが おわって
がくしゅうや せいかつで がんばったぶんだけ O を つけましょう。

10 月頃に記入する

**がんばったな、と おもう かずだけ
まわりの O を かこんでね!**



(がくしゅう) ©砂川市みまもりんご



(せいかつ) ©砂川市みまもりんご



がくしゅうで がんばったこと

せいかつで がんばったこと

学校行事等をキャリアシート
などで振り返りながら、記入
します。
結果だけではなく、できるよ
うになるために行動したこと
に気づかせることが大切です。

これから ちょうせんしたいこと

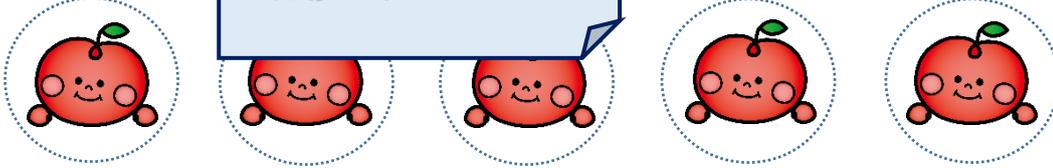
上記の「がんばったこと」と
同じ内容になることがありま
す。その場合にも継続して努
力しようとしていることとし
て肯定的に捉えることが大切
です。

せんせいや おうちのひとから

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、
気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性
を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

かいた日： _____ 年 月 日

2 1年かんを ふりかえって

(がくしゅう)	©砂川市みまもりんご
	
3月頃に記入する	
どんな些細なことでも、できるようになったこととして、成長に気付かせることが大切です。	
(せいかつ)	©砂川市みまもりんご
	

がくしゅうで がんばったこと	左記の「がんばったこと」と同じ内容になることがあります。その場合にも、継続して努力していることとして肯定的に捉えることが大切です。
せいかつで がんばったこと	

3 この1年かんで うれしかったことや たのしかったこと

	学級活動の時間を活用して、全体や小集団での話し合いの中で、4月からの学校生活を振り返り、楽しかったことを書くことも考えられます。
--	---

4 こんな 2年生に なりたいな

	具体的な目標が書けない場合でも、新しい学年に向かって、希望を持たせるようにします。
--	--

せんせいから	おうちのひとから
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。	

2年生

() くみ なまえ

かいた日： 年 月 日

1 2年生になったいまの気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年のはんぶんがおわって 日 月 日 かいた日： 年 月 日

目ひょうがどのくらいがんばることができましたか

(れい) あまりがなばれなかった |-----| **10月頃に記入する** ⊕ |-----| がなばることができた

(学しゅう) あまりがなばれなかった |-----| がなばることができた

(生かつ) あまりがなばれなかった |-----| がなばることができた

とくにがなばったこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょうせんしたいこと

上記の「がんばったこと」と同じ内容になることがあります。それを継続して努力しようとしていることとして肯定的に捉えることも大切です。

先生やおうちの

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

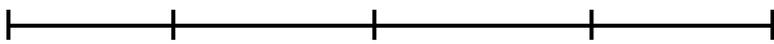
かいた日： 年 月 日

3 1年かんを 振り返って

3月頃に記入する

(学しゅう)

あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

(生かつ)

あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

とくにごんばったこと

4 この1年かんでうれしかったこと

学級活動の時間を活用して、全体や小集団での話し合いの中で、うれしかったことを書くことも考えられます。また、交流する中で、うれしかった内容や理由を掘り下げること考えられます。

5 こんな3年生になりたい

3年生で新たに始まることやなりたい3年生像などについて、話し合うなどにより、新しい学年に向かって、希望をもたせるようにします。

先生から	おうちのひとから
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。	

3年生

() 組 名前 ()

書いた日： 年 月 日

1 3年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

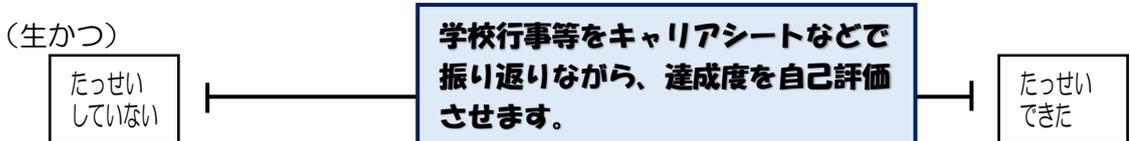
4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年の半分がおわって 書いた日： 年 月 日
目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。



10月頃に記入する



学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。
がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

とくにごがんばったこと

Blank box for writing about special achievements.

これからちょうせんしたいこと

1・2年生のお手本となることや、係・当番活動など友達との協力することなど、人との関わりについても考えられるようにします。

先生やお家の人

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

書いた日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

3 1年かんを ふりかえって
(がくしゅう)

3月頃に記入する

たっせい
していない

たっせい
できた

(せいかつ)

たっせい
していない

たっせい
できた

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

とくにがんばったこと

4 自ぜんや生きもの、命などについて、体けんして考えたこと

学校のキャリア教育の目標とも照らし合わせながら、環境体験事業を通じて感じたことを基に、自らの生き方と関連づけて考えられるようにします。

5 こんな4年生になりたい

4年生で新たに始まることやなりたい3年生像などについて、話し合うなどにより、新しい学年に向かって、希望をもたせるようにします。

先生から	お家の人から
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。	

4年生

() 組 名前 ()

記入日： 年 月 日

1 4年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年の半分が終わって

記入日： 年 月 日

目

目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。



10月頃に記入する

(学習)

たっせいしていない

たっせいできた

(生活)

たっせいしていない

たっせいできた

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。
 がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

とくにがんばったこと

Blank box for writing 'とくにがんばったこと' (Things you particularly worked hard on).

これからちょうせんしたいこと

下の学年のお手本となることや、係・当番活動など友達と協力することなど、人との関わりについても考えられるようにします。

先生やお家の

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

記入日： 年 月 日

3 1年間を 振り返って

(学習)

たっせい
していない

3月頃に記入する

たっせい
できた

(生活)

たっせい
していない

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

たっせい
できた

とくにごんばったこと

4 10才のふし目をむかえて

今、む中になっていることや好きなこと

しょう来のゆめ (こんな大人になりたい) や目ひょう

今ががんばっていること

学校行事や係活動等を振り返り、自分の将来に向けて行動していくことを考えさせることが大切です。
友達同士で話し合いながら、友達の意見を参考に、自分について考えさせることも考えられます。

5 こんな5年生になりたい

高学年 (2nd ステージ) について、役割などをイメージさせ、希望をもたせるようにします。

先生から

お家の人から

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

5年生

() 組 名前 ()

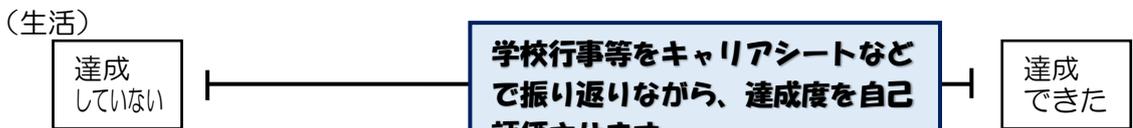
記入日： 年 月 日

1 5年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目標がどのくらい達成できましたか。



特に熱心に取り組んだこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。
がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょう戦したいこと

高学年(2nd ステージ)として、お手本となることや、係・委員会活動など責任を持って役割を果たすことになります。失敗を恐れず、より高い目標を掲げ挑戦しようとする気持ちになるようにします。

先生やお家の人から

先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

記入日： 年 月 日

3月頃に記入する

3 高学年としての1年間を振り返って

(学習)

達成
していない

達成
できた

(生活)

達成
していない

達成
できた

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

特に熱心に取り組んだこと

4 宿泊学習を振り返って

成長できたと思うこと	<p>入学後初めての集団宿泊的行事となる「宿泊学習」はキャリア発達につながる機会が多くあります。 宿泊学習の経験をキャリアシート等から振り返り、成長に気付かせ、それを今後の生活に活かしていくようにすることが大切です。</p>
きっかけとなったできごと	

5 こんな6年生になりたい

	<p>5年生での経験を踏まえ、これからの抱負を考えたり、6年生の学校生活や行事などをイメージさせ、希望をもたせたりするようにします。</p>
--	--

先生から	お家の人から
<p>先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。</p>	

6年生

() 組 名前 ()

記入日： 年 月 日

1 6年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

4月に記入する

前年度末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、今の気持ちや今年度がんばりたいことを学習面、生活面、家庭での手伝いや習い事などから記入します。

2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目標がどのくらい達成できましたか。



(学習) 達成していない |-----| 達成できた

(生活) 達成していない |-----| 達成できた

特に熱心に取り組んだこと

学校行事等をキャリアシートなどで振り返りながら、達成度を自己評価させます。がんばったことを振り返らせ、結果だけではなく、できるようになるために行動したことに気づかせることが大切です。

これからちょう戦したいこと

前期課程の最高学年として、下の学年のお手本となることや、係・委員会活動など責任を持って役割を果たすこととなります。失敗を恐れず、より高い目標を掲げ挑戦しようとする気持ちになるようにします。

先生やお家の人から

先生や保護者などが児童の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

3 前期課程最後の1年を振り返って
(学習)

3月頃に記入する

達成
していない

達成
できた

(生活)

達成
していない

達成
できた

友達同士で、お互いがんばっていたところや良かったところを伝え合う活動を取入れることも考えられます。

特に熱心に取り組んだこと

4 前期課程の生活を振り返って

一番印象に残っている出来事とその理由

成長したと感じたことやそのきっかけ

「キャリア・パスポート」やキャリアシートで振り返ることで、成長を実感させるようにします。

5 後期課程(7年生)に向けた今の気持ち(楽しみなこと、不安なことなど)

6年生でのがんばりを踏まえ、中学生になる抱負を考えさせたり、今思っている気持ちを素直に表現させたりするようにします。

6 将来の夢(こんな大人になりたい) やしてみたい仕事

なりたい大人像や就きたい仕事を考え、それと実生活とを結びつけることが大切です。書けない児童には得意なことから働きかけます。

先生から	お家の人から
先生や保護者などが児童の頑張りやできるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、児童が自らの良さや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めることにつながります。	

7年生

() 組 名前 ()

1 後期課程になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

4月に記入する

前期課程での出来事や、後期課程の生活が始まった今の気持ちを素直に表現させます。

2 将来の夢や目標に向かって、身に付けたい力とその理由

こんな大人になりたい(将来の夢や目標)	そのために身に付けたい力
そう思った理由やきっかけ	<div style="border: 1px solid #003366; padding: 5px; background-color: #e6f2ff;"> <p>目指す大人像だけでなく、将来の職業を書くこと生徒もいます。ともに認めた上で、そのために身に付けたい力を考えさせることが大切です。</p> </div>

3 になりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのために行うこと

(学習面の目標)	→	すること
(生活面の目標)	→	すること
(家や地域、その他習い事等)	→	すること

前期課程時の「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、目標とすることとそのための行動をより具体的に考えます。また、地域の一員であることに意識を向けさせることも大切です。

4 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと 記入日： 年 月 日

(学習面)	→	今後
(生活面)	→	今後
(家や地域、その他習い事等)	→	今後

自己評価とともに、これからの抱負を考えることで、自分が努力することなどを具体的に考えられるようにします。

先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

3月頃に記入する

記入日： 年 月 日

5 目標の達成状況（1年間を振り返って）

(学習面) 〔達成度： %〕	理由	目標に対してがんばったことやできるようになったこと、そのための努力について、キャリアノート等で振り返らせます。 自己評価を数値化することで、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることができます。
(生活面) 〔達成度： %〕	理由	
(家や地域、その他習い事等) 理由 〔達成度： %〕		

6 6年生だった自分へ

「キャリア・パスポート」等から6年生のときの気持ちを振り返り、今の自分からメッセージを送ります。

7 8年生に向けて

3rd ステージに向けて、1年間の頑張りを踏まえて、前向きな思いを記入させます。	
先生から	お家の人などから
先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。	

8年生

() 組 名前 ()

1 8年生になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

4月に記入する

前学年末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、8年生(3rd ステージ)が始まった今の気持ちを素直に表現させま

2 なりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにかかること

(学習面の目標)	すること	7年生の「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、目標とすることとそのための行動をより具体的に考えていきます。また、地域の一員であることに意識を向けさせることも大切です。
(生活面の目標)	すること	
(家や地域、その他習い事等)	すること	

3 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと 記入日： 年 月 日

10月頃に記入する

(学習面)	今後	自己評価とともに、これからの抱負を考えることで、自分が努力することなどを具体的に考えられるようにします。
(生活面)	今後	
(家や地域、その他習い事等)	今後	

先生やお家の人などから
先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

4 目標の達成状況(1年間を振り返って) 記入日： 年 月 日

3月頃に記入する

(学習面)	理由	目標に対してがんばったことやできるようになったこと、そのための努力について、キャリアノート等で振り返らせます。自己評価を数値化すること、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることが出来ます。
〔達成度： %〕		
(生活面)	理由	
〔達成度： %〕		

(家や地域, その他習い事等) 理由

〔達成度: %〕

- 5 職場体験で学んだことが、今の自分に影響していること
(職場体験後の学習面、生活面での変化や人との接し方、将来への考え方など)

「職場体験」はキャリア発達につながる機会が多くあります。キャリアシート等を活用して振り返り、自分の進路や生き方について考え、実生活につなげるようにします。

- 6 「A」「B」どちらに賛成しますか？
今の自分の気持ちに近いところに、印を付けましょう

A	Aに賛成 ←————→ Bに賛成	B
例	┌───────────────────┐	
将来のことは高校に入ってから考える	┌───────────────────┐	今から将来のことを考えている
自分で人生を切り拓いていきたい	┌───────────────────┐	人に言われるがままの人生でかまわない
勉強するのは高校入試のためだ	┌───────────────────┐	高校入試は通過点。勉強するのはその先の将来のためだ
一度決めた将来の夢は何があっても変わらない	┌───────────────────┐	将来の夢はこれから変わるかもしれない
中学校卒業後の進路が思い通りにならなかつたら、自分の夢をあきらめる	┌───────────────────┐	卒業後の進路が思い通りにならなかつたとしても努力を重ねて夢に近づきたい

AかBのどちらかではなく、それぞれにどの程度賛成かを線上に表すことにより、その理由などについて自分を客観的に見ることにつながります。友達同士で理由を話し合う活動も考えられます。

先生から

お家の人などから

先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

9年生

() 組 名前 ()

1 9年生になった今の気持ち 記入日: 年 月 日

4月に記入する

前学年末に書いた「キャリア・パスポート」を見ながら、9年生が始まった今の気持ちを素直に表現させます。

2 になりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにならなければならないこと

(学習面の目標)	すること
(生活面の目標)	すること
(家や地域、その他習い事等)	すること

7・8年生の「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、目標とすることとそれのための行動をより具体的に考えていきます。また、地域の一員であることに意識を向けさせることも大切です。

3 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと 記入日: 年 月 日

(学習面)	今後
(生活面)	今後
(家や地域、その他習い事等)	今後

10月頃に記入する

自己評価とともに、これからの抱負を考えることで、自分が努力することなどを具体的に考えられるようになります。

先生やお家の人などから 先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。

4 目標の達成状況(1年間を振り返って) 記入日: 年 月 日

(学習面)	理由
〔達成度: %〕	
(生活面)	理由
〔達成度: %〕	

3月頃に記入する

目標に対してがんばったことやできるようになったこと、そのための努力について、キャリアシート等で振り返らせます。自己評価を数値化すること、学校におけるキャリア教育の指導改善にも役立てることができます。

(家や地域、その他習い事等)理由
 〔達成度： %〕

5 これまでの約15年間で、自分の成長を実感したきっかけのベスト3



いつ	きっかけ	成長した内容
		<p>「キャリア・パスポート」等を見ながら振り返り、自分ができるようになったことなど成長したことを整理することで、自己肯定感や、これからの意欲につなげます。</p>

6 高校生活等の4月からの進路に向けた今の気持ち（楽しみなこと、不安なこと）

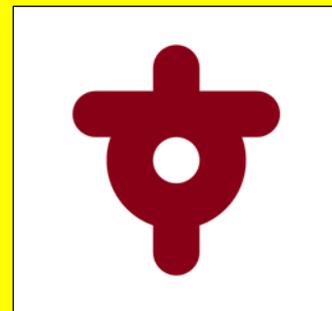
進学、就職等新たな環境での生活が始まります。中学校での頑張りを踏まえ、新たな進路を踏み出すにあたっての抱負を考えさせたり、今思っている気持ちを素直に表現させたりするようにします。

7 30才の自分へのメッセージ（将来の夢や目標、仕事などを想像して）

15年先の自分の夢や目標にどのようにたどりついているかなどを自分の良さや克服したいことからイメージさせます。その将来の自分にメッセージを書くことで、目標達成への計画を立てることもつながります。書きにくい生徒には、得意なことから導くように働きかけたり、今の自分の頑張りを伝えたりすることも考えられます。

先生から	お家の人などから
<p>先生や保護者などからのメッセージとして、目標達成に向けたがんばりを具体的に「ほめる」「認める」記述をします。</p>	

砂川版 「キャリア・パスポート」 補助資料



令和〇年4月1日
砂川市教育委員会



みまもりんご

〇〇（がっこうぎょうじ）がんばりシート（1stステージ）

うんどうかいのめあて



がんばることを決めよう

うんどうかいをふりかえろう

① がんばったことやできたことはなんですか。

② たのしかったことやうれしかったことはなんですか。

宿泊学習 がんばりシート

宿泊学習の目標（学年全体の目標）



自分の目標を決めよう（〇〇学校の〇年生として、〇年〇組の一員として）

【楽しみなこと】

【担当する係】

宿泊学習での活動を振り返ろう

- ① 目標に対して、がんばったことや達成できたことは何ですか？

- ② どんなことが心に残りましたか。

- ③ 宿泊学習で学んだことをこれからの学校生活でどのように生かしていこうと思いますか。

〇〇（学校行事）がんばりカード（2nd ステージ）

修学旅行の目標（学年（学級）全体の目標）

修学旅行で大切なことは？



自分のめあて（〇〇学校の〇年生として）

修学旅行をふり返ろう

- ① 目標に対して、達成できたことやがんばったことは何ですか。

- ② どんなことが心に残りましたか。

- ③ これからの学校生活にどう生かして行こうと思いますか。

学校行事等（〇〇について）

※体育祭、学校祭、修学旅行等

（事前）

記入日

年

月

日

〇〇での目標（自分の役割など）

そう思った理由

目標を達成するために準備すること

（事後）

記入日

年

月

日

目標を達成するために、がんばったこと

心に残っていること

自分が成長したと思うこと

今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたいこと

先生からのメッセージ

メッセージを読んで考えたこと

学校行事等（〇〇について）

※体育祭、学校祭、修学旅行等

（事前）

〇〇での目

- ・学校行事の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。
- ・教師が生徒に対して、本学校行事においてどのような経験や成長をすることを願っているのか、どのような意義のある学習なのか、丁寧に伝えた上で、記入させましょう。
- ・学校行事に関連する他のワークシートとの活用場面の整理が必要となります。

そう思った

- 思いきって、従来のワークシートを本シートに集約する
 - 詳細な場面ごとのワークシートの重要ポイントのみを抜粋したシートとして、本シートを次年度にも引き継ぐべき、まとめの1枚とする
- など、実態に合わせて検討してみましょう。

目標を達成するために準備すること

学校行事の目的や自分の役割を考え、どのように行動するのかを記入することができるように、支援します。

（事後）

記入日 年 月 日

目標を達成するために、がんばったこと

心に残っていること

自分が成長したと思うこと

学校行事での体験と実生活とを関連付けて、気付いたことや取り組みたいこと、思ったこと等、自分が成長したことを記入できるようにします。

今回の体験・経験を踏まえて、今後生かしていきたい

体験での学びと日常生活の学びをつなぐことができるように、個人や集団での対話を行い記入させると良いでしょう。

先生が

- ・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取り記入することが大切です。
- ・学校での経験と社会をつなぎ、生徒の意識が高まるメッセージを送りましょう。
- ・短いメッセージでかまいません。

メッセージを読んで考えたこと

体験活動（職場体験活動）

（職場体験活動前）

記入日

年

月

日

職場体験活動のねらい

「働くこと」についての今の考え（「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか）

職場体験活動先

職場体験活動を通して学ぶこと（なぜ、自分は職場体験活動を行うのか）・経験したいこと

自分の課題（生かしたい・伸ばしたい自分のよさ・知りたいこと）

（職場体験活動後）

記入日

年

月

日

職場体験活動で、嬉しかったこと・自信がついたこと

職場体験活動で、難しかったこと・うまくいかなかったこと

職場体験活動を通して、自分の伸ばせたところ・新しく発見できたところ

「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）

職場体験活動を終えて、これからの自分の進路や将来について考えていること

お世話になった方や保護者からのメッセージ

先生からのメッセージ

メッセージを読んで考えたこと

体験活動（職場体験活動）

（職場体験活動前）

記入日 年 月 日

職場	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の意義を高め、生徒の成長につながるものとするには、事前指導が重要となります。 ・教師が生徒に対して、本体験活動においてどのような経験や成長をすることを願っているのか、どのような意義のある学習なのか、丁寧に伝えた上で、記入させましょう。 	
「働		るか)
職場体験活動先		<p>体験活動先で、どんな力をつけたいのか、そのためにどのような活動をしたいのかを具体的に考え、記入できるように支援します。</p>
職場体験活動を通して学ぶこと（なぜ、自分は職場体験活		
自分の課題（生かしたい・伸ばしたい自分のよさ・知りた		<p>・自分自身を見つめ、伸ばしたいことや学びたいことが記入できるようにします。</p>

（職場体験活動後）

記入日 年 月 日

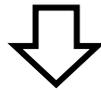
職場体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の前に学びたかったことなどと比べて、実際の活動を振り返り、具体的に記入することが大切です。 ・生徒自身が自分の言葉で体験活動を価値付けできるようにしましょう。 	
職場体験活動で、楽しかったこと・うまくいかなかったこと		
職場	<p>成功体験だけでなく、うまくいかなかったこと等も、今後の自分の成長につながる貴重な経験であることを伝えます。</p>	<p>事前・事後に「働くこと」について向き合うことで、生徒自身が自己の変容に気付くことができるようにします。</p>
「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・体験先にメッセージをいただく際には、事前（体験前）に依頼しておきましょう。 また、体験後のお礼の挨拶等の際には、あらためて丁寧な依頼が必要です。 ・メール等でメッセージをいただく方が先方の負担が少ないことも考えられます。 柔軟な対応が必要です。 	こと
お世話になった方や保護者からのメッセージ		
先生からのメ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会とのかかわりや人とのつながりが意識できるようメッセージを記入します。 ・生徒の経験に基づく成長ポイントを見取り記入することが大切です。 ・短いメッセージでかまいません。 	メッセージを読んで考えたこと

○や□の中の学校行事名をいれかえれば、他の学校行事の際にも使えます。

○○ (がっこうぎょうじ) がんばりカード (1st ステージ)

うんどうかいのめあて

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、その学校行事のねらいを児童にわかりやすい言葉で示しておきます。(自分の役割を責任をもって果たす。友達と協力し、進んで活動する。など)



がんばることを決めよう

うんどうかいをふりかえろう

① がんばったことやできたことはなんですか。

できたか、できなかったか、だけにならないようにし、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにします。

「友達のがんばっていたところ」を書くなど、相互評価をくわえてもよいでしょう。

② たのしかったことやうれしかったことはなんですか。

宿泊学習 がんばりカード

宿泊学習の目標（学年全体の目標）

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、自然の教室の意義について、しっかりと理解できるようにして、子供たちにわかりやすい言葉でねらいを示しておきます。そして、全体目標を受けて個人の目標を立てるようにします。



自分の目標を決めよう（〇〇学校の5年生として、〇年〇組の一員として）

集団宿泊学習においても、学校の代表であるという意識をもって活動できるようにし、社会とのつながりが意識できるようにします。具体的な実践目標を意思決定し、「目標に向かって頑張ったり、やりとげたりすること」ができるようにします。

【楽しみなこと】

【担当する係】

宿泊学習での活動を振り返ろう

① 目標に対して、がんばったことや達成できたことは何ですか？

② どんなことが心に残りましたか。

③ 宿泊学習で学んだことをこれからの学校生活でどのように生かしていこうと思いますか。

個々の成果と必要に応じて課題について考えさせ、それを整理させることで、今後、学校生活などで取り組むべき事柄がとらえられるようにします。

○や□の中の学校行事名をいれかえれば、他の学校行事の際にも使えます。

○○（学校行事）がんばりカード（2nd ステージ）

修学旅行の目標（学年（学級）全体の目標）

単なる合言葉やキャッチフレーズではなく、その学校行事のねらいを児童にわかりやすい言葉で示しておきます。（自分の役割を責任をもって果たす。友達と協力し、進んで活動する。など）

修学旅行で大切なことは？

修学旅行の場合、一般の方と接する機会も多いため、修学旅行先でも学校代表としての意識をもって過ごすなど、社会とのつながりを意識できるようにします。単なる「楽しい学校行事」にならないように、事前に意義（大切なこと）をしっかりと理解して、目標を立てることができるようになります。

自分のめあて（○○学校の6年生として）

修学旅行をふり返ろう

① 目標に対して、達成できたことやがんばったことは何ですか。

② どんなことが心に残りましたか。

できたか、できなかったか、だけにならないようにし、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようになります。「友達のがんばっていたこと」等の相互評価を加え、互いのよさやがんばりに気付く機会となるようにすることも考えられます。

③ これからの学校生活にどう生かして行こうと思いますか。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度始め

- (1) 前期課程 学級活動（特別活動）
- (2) 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
 - ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
- (3) 題材「〇年生になって」
- (4) 事前の指導
 - ▶ 前学年度末に書いた「砂川版キャリア・パスポート」を見返して、前学年での学習や生活を振り返るとともに、理想の学級生活やなりたい自分について考える。
- (5) 本時の学習

	児童の活動	指導の留意事項
導入 つかむ	<p>○前学年の年度末に書いた砂川版キャリア・パスポートをもとに、前学年を振り返り、自分や友達の成長について話し合う。</p> <p>○これまでの自分を振り返って、なりたい自分について願いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標をもって生活することの大切さに気づく。 ・前学年と比べた自分たちの成長について考え、成長を重ねていくことが大切であることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶記録のみの時間とならないようにする。 ▶導入では、これまでの自分の学習や生活を振り返るとともに、将来の自分と今の自分がつながっていることを理解し、今年度の具体的な目標を考える気持ちを高める。 ▶今の自分の経験や思いを記録していくことの意義を感じられるようにする。
展開 さぐる 見つける	<p>○将来の夢や◆年生としてなりたい自分、できるようになりたいことを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習や伝記などを参考に、将来と今はつながっていることや、思い描いている夢が叶わなくても、今、取り組んでいることは無駄にならないことに気づくようにする。 <p>○なりたい自分になるために、どんなことに取り組めばよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や家庭、習い事などでどんな力がつか考える。 ・これまでの自分の経験をもとに話し合うようにする。 ・全ての経験が、自分の成長につながることに気付き、様々なことに挑戦しようという意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶互いの思いを尊重し合う雰囲気大切になる。 ▶自分の経験が、友達へのアドバイスになることを伝える。 ▶友達の経験が、全て自分にも当てはまるかは分からないことを伝えておく。その上で、自分の意思で決定することが大切であることを伝える。
終末 決める	<p>○なりたい自分になるための目標や、これから取り組むことを決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定したことを砂川版キャリア・パスポートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶話し合ったことを生かして、自分に合った具体的な実践内容や行動目標を意思決定することができるようになる。

- (6) 事後の指導
 - ▶ 意思決定した目標や実践方法について1週間程度取り組み、ペアやグループで振り返って互いの頑張りや成果を認め合う。
 - ▶ 継続した実践となったり、必要に応じて新たなめあてを立てて取り組んだりすることができるように助言する。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度末

(1) 前期課程 特別活動

(2) 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

(3) 題材「1年間をふり返ろう」

(4) 事前の指導

▶ 砂川版キャリア・パスポート「1年間をふり返って」の1年間の振り返りの部分を記入しておく。

- ・楽しかったことやできるようになったこと
- ・がんばったことや成長したこと

▶ 次の学年で楽しみにしていることやがんばりたいことのアンケートをとり、まとめておく。

(5) 本時の学習

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入 つかむ	<p>○アンケート結果から、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が楽しみにしていることやがんばりたいと思っていることを知る。 <p>○今年度記入したシートや教材などのポートフォリオや「砂川版キャリア・パスポート」を参考にしながら、1年間の生活や学習を振り返り、自分たちの成長を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象に残った出来事 ・自分が成長したと感ずること ・自分と同じように、仲間も成長していることに気付く 	<p>▶学校生活が振り返れるように、写真等を掲示したり、これまで記録したポートフォリオなどを用意したりしておく。</p> <p>▶学校以外での成長についても触れる。</p> <p>▶話し合いを生かして、様々な経験により、一人一人が成長したことを実感させる。</p> <p>▶互いの成長を喜び合える雰囲気大切に作る。</p>
展開 さぐる 見つける	<p>○次の学年に向けてなりたい自分を思いえがく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上学年の姿を想起させ、大まかななりたいイメージをもつ。 <p>○なりたい自分に向けて、今から取り組むことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから挑戦したいことや、継続して取り組みたいこと等について話し合う。 ・実践可能な具体的な内容となるようにする。 	<p>▶上学年の姿を想起させたり、上学年からのビデオレターやメッセージを紹介したりすることで、イメージをもちやすくする。</p> <p>▶なかなか書けない児童がいたら、児童の素直な思いが引き出せるように助言する。</p>
終末 決める	<p>○話し合ったことをもとに、自分に合った具体的な目標や実践方法を意思決定し、「砂川版キャリア・パスポート」に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なめあてや実践内容を決める。 ・次の学年への前向きな気持ちが高まるようにする。 	<p>▶次の学年へ向けて、残りの学校生活を有意義に過ごせるようにする。</p>

(6) 事後の指導

▶ 決めた目標について、○年生最後の日まで取組を続け、振り返りを行う。

▶ 低・中学年の場合は1週間程度など期間を決めて実践し、振り返るようにする。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度終わり

- (1) 後期課程 特別活動
- (2) 7学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材『1年間を振り返り、後輩たちへのメッセージを書こう』
- (4) 事前の指導 (活動)
▶前期課程から持ち上がった「砂川版キャリア・パスポート」を見返しておく
▶今年度で記入した「砂川版キャリア・パスポート」を見返しておく
- (5) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶「1年間を振り返り、後輩たちへのメッセージを書こう」について確認 ▶これから行う活動の流れについて指示 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶1学期に書いた「後期課程の仲間入りを果たして」、中学1年学年初めと、各学期末の「砂川版キャリア・パスポート」をもとに、入学したころの自分と一年間の自己の成長を個人で振り返る。 ▶自己の成長のきっかけとなったできごとや、成長を支えてくれた人やものなどについて、個人で振り返った内容をグループ内で話し合う。 ▶自分の発表に対するクラスメイトのコメントや、クラスメイトの発表を聞いて感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 ▶個人での振り返りやワークシートの内容をもとに、後輩に向けて「後期課程へようこそ！」を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫 ▶他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。 ▶入学時の期待と不安な気持ちをもった自分自身に応援メッセージを送るつもりで考えさせる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶入学から学年末まで、授業やさまざまな行事を通して、どのような力が身についたのかイメージする。 ▶3rdステージに進級するにあたり、さらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「砂川版キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。 	

- (6) 事後の指導 (活動)
▶学年末の「砂川版キャリア・パスポート」を作成する
- (7) 実施時期
2～3月中の実施を想定している。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度始め

- (1) 後期課程 特別活動
- (2) 7学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』
- (4) 事前の指導 (活動)
▶ (多様な価値観がある) 異なる個性が集まった集団でも、自分も相手も居心地よい環境がつけられることを説明する。
- (5) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』について確認 ▶ これから行う活動の流れについて指示 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個人で「後期課程の仲間入りを果たして」(ワークシート)を記入する。 ▶ 3rd ステージの先輩たちからのメッセージ(「後期課程へようこそ!」)をグループ内で回覧する。 ▶ 自分が「このメッセージが良いな、共感するな、うれしいなと感じたもの」をグループ内で話し合う。 ▶ 「なぜ、そのメッセージが良いと感じたか」をグループ内で相互に質問をする。 ▶ 3rd ステージの先輩たちからのメッセージや、クラスメイトとのグループ協議を通じて感じたことや考えたことなどをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生徒が現在の気持ち(期待や不安)を素直に表現できるよう、クラスの雰囲気等に配慮する。 ▶ 時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫 ▶ 他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶ 自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2nd ステージの最高学年として、また、後期課程の仲間入りを果たして、今後さらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「砂川版キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習面や生活面においての目標、家庭や地域での目標、その他資格取得等、具体的に取り組みたいことを考えさせる。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ このあと、7年生学年初めの「砂川版キャリア・パスポート」の作成時間を設定する。
 - ▶ 「後期課程の仲間入りを果たして」は学年末に記入する「1年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」時に、生徒に返却する。
 - ▶ 「後期課程の仲間入りを果たして」や作成したワークシートは担任との面談などにも活用する。
- (7) 4月中での実施を想定している。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) 7年生 特別活動
- (2) 7学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材「この1年間の成長を振り返ろう」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 6学年までの「砂川版キャリア・パスポート」を準備する
 - ▶ 7学年用の「砂川版キャリア・パスポート」を準備する
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶進級から今までを振り返る ・学習面、生活面、家庭や地域で	▶学期ごとの「砂川版キャリア・パスポート」を活用し、自分の成長を振り返るよう支援を行う
展開	本時のねらいを確認する ▶友だちとの共有し互いの成長を確認し合う。 ・付箋を準備し、自分や友だちの変容について記入し貼る ▶気付いた内容について、クラス全体で共有する。 ・成長の理由も合わせて考える。 ▶8年生になる自分への応援メッセージを書く	・1年間のがんばりを友だち同士で共有し、互いの成長を教えあえるようにする。 ・自己変容に気付けるように個別支援を行う。 ・付箋を活用することで、成長を可視化できるように工夫する。 ・理由を考えることで、成長が自覚できるようにする。 ・短期間の目標と中期間の目標を考えさせることで、具体的に行動することを考えさせる。
終末	▶そのために今、がんばる事を記入し発表する。 共有	▶具体的な取組について、意思決定をし、実践へつなげるようにする。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ 8・9年のなりたい自分に向け、意思決定したことが実践できるようがんばりカードを記入していく。
 - ▶ 「砂川版キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を活用することで、自己理解をさらに深められるようにする。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) 8 学年 特別活動
- (2) 8 学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- (3) 題材「18 歳の私へ」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 職場体験活動の実施
 - ▶ 「砂川版キャリア・パスポート」(職場体験活動事後版) を各自記入させておく
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶ 職場体験活動後で、気付いたことを話し合おう <ul style="list-style-type: none"> ・ 伸ばせたこと ・ 新しく発見したこと ・ 働くことへの考え 	▶ 記入済みの職場体験活動後の砂川版キャリア・パスポートを活用し、伸ばせたことや新しく発見したこと等を具体的に伝えられるよう声かけを行う
展開	▶ 友だちとの共有したことを踏まえ、これからの自分の進路や将来について考えていることについて発表する。 ▶ 18 歳になった自分を見つめよう。 キャリア・パスポートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 18 歳の自分へどんな言葉かけをしたいか ・ 18 歳の自分がどんな夢に向かって頑張っているのか。そのことに興味を持った理由 ▶ 記入した内容についてグループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 記入後、グループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの話し合い後、クラス全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級内での対話と 30 歳の自分について考える活動がつながって話し合えるように支援する。 ・ 職場体験でお世話になった人々のことも思い出させる。 ・ グループ活動では、付箋に記入したものを貼っていくなど、意見が可視化できるように工夫する。 ・ 学級全体での話し合いを通じて、自分自身のよさや興味関心など、多面的・多角的に自己理解が深まるよう意見を引き出す工夫をする。
終末	▶ 自分が思う 18 歳になるために、今、何をしていくべきかをキャリア・パスポートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共有 	▶ 意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ 7 年生の際に書いていた「こんな大人になりたい (将来の夢や目標)」の記載を見直す。
 - ▶ 「砂川版キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を各自書いてもらう。

「砂川版キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) 9年生 特別活動
- (2) 9学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ウ 主体的な進路の選択と将来設計
- (3) 題材 「30歳になった自分を見つめよう」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶これまで記入した「砂川版キャリア・パスポート」を準備しておく
 - ▶実態に応じて卒業アルバムの活用も考えられる
 - ▶生徒自身による9年間の軌跡を思い起こすグループワークを行ってもよい
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶本時のねらいを確認 「30歳の私へ手紙を書こう」 ～1年生から9年生までの生活を振り返る～ ▶学校生活で心に残っていることを、クラス全体で交流 	<ul style="list-style-type: none"> ▶小学校とこれまで記入した中学校の「砂川版キャリア・パスポート」を活用し、これまでの自分を振り返り、意欲的に30歳の自分へメッセージを送ろうと取り組めるように支援する
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶友達と共有した思い出などを踏まえ、自分自身の9年間を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことなどを15年後の自分に伝える気持ちで自分に向けて記入する ▶自分の成長を振り返った上で、将来の自分を想像する <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人になりたいか ・そう思った理由やきっかけ ▶記入した内容についてグループで話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・9年間で成長したと感じたことや、将来の自分のイメージを伝え合う ・将来の自分のイメージに近づくためにどんなことが大切か話し合う ・グループでの話し合いの後に、クラス全体で共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶記録のみの時間とならないように留意する ▶じっくりと、自分と向き合う時間を大切にしたい ▶9年間での成長を実感し、将来の自分をイメージすることで前向きに取り組む態度を育成する ▶肯定的に認め合う雰囲気大切に ▶グループでの話し合いを通して自己理解が深まるように声をかける
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶30歳の私へ向けて手紙を書く <ul style="list-style-type: none"> ・将来の自分の姿を具体的にイメージして、大切にしようと思うことなどをもとに手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶先生や保護者からメッセージをもらい、読んで気付いたこと、考えたことを記入する。
 - ▶実際30歳になった時には、ここで書いたことを読み、自分の言葉に力をもらえるようにしたい。